

広報



No.295

しゅら

平成6年 9月号

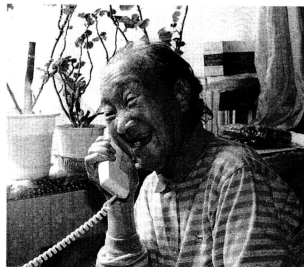


実りの秋
今年は大豊作

昨年のコメ不足がウソのよう——。

今年の稲作は夏の好天に恵まれ、黄金色の稲穂が垂れ下がり、昭和59年以来の大豊作となりました。

村農協の倉庫にも1等米が山積みされ、関係者の間には満面の笑みがこぼれています。



「福祉あんぜん電話」があれば、もし何かあったときでも安心して、でも、まだ一度も使ったことはないんです(十三)

当村におけるショートステイ事業は、中里町にある特別養護老人ホーム「静和園」に委託されています。利用者は年々増えており待機者も出ていますので、特別養護老人ホームの村内設置とあわせて、シ

ョートステイ専用居室の整備を促進します。また、家族の介護疲れや負担軽減をはかるため、在宅の要介護老人を夜間だけ施設に宿泊させるナイト・ケア事業についても検討します。

緊急通報体制の充実

「福祉あんぜん電話」の拡大

一人暮らし老人や要介護老人たちは、急病や災害などの際の連絡やその方法について不安な気持ちで暮らしています。現在、内湯療養園の協力

者、その他老人等からも、この事業の継続と拡大が望まれています。

ています。今後もこの事業の拡大と効率的な配置をしながら、地域の老人は地域で支え合、「ネットワーク」づくりや「友愛ふれあい」のシステム、「ボランティア銀行」などの創出をはかります。また、日常生活用具の給付

サービスを提供する施設の確保

①デイ・サービスセンター

平成十年度におけるデイ・サービスセンターの必要量を充足させるためには、高齢者生活福祉センター「悠遊郷」

だけでは無理な状況にあります。現在、相内保育所の改装計画があり、太田へき地保育所、十三・脇元保育所の統廃

合も検討されるものと思われ、このため、これら施設の転用を考へ、デイ・サービス事業の拡大をはかります。

また、社会福祉法人による特別養護老人ホームの設置を関係機関に働きかけ、デイ・サービスの一部を委託する方向で検討します。

②ショートステイ

ショートステイ専用ベッドは、二床の確保が必要ですが、当面は「静和園」に委託しま

貸出しや、隣近所の人たちへの援助を期待する老人が多くなっていますので、貸出し機器のメニューと台数を増やすなど、老人の緊急事態に備え、安心して生活ができるよう施策を展開します。

③在宅介護支援センター

が、特別養護老人ホームが当村に設置された段階で、この施設にショートステイを委託します。

④特別養護老人ホーム

平成四年度で特別養護老人ホームに入所しているのは、五施設で十六人となっています。当面は西北五管内の施設を利用して入所措置しますが

、西北五管内でも入所希望者が増加し、待機者も多いことから、圏内での調整をはかりながら地域バランスを考慮し、整備を進めます。

⑤養護老人ホーム

平成四年度では、三施設で六人が入所しています。特別養護老人ホームと同じく、入所に時間がかかる状況にありますが、今後は在宅福祉サービスの充実、強化に努めます。

⑥老人保健施設

老人保健施設には現在二人入所しています。長期入院者老人医療の看護料支給を受けた人が七名あり、これらの長期入院者が、老人ホームの入所待機者となる可能性もありませんが、目標年度においては県内の既存施設を利用した入所サービスを行います。

⑦ケアハウス

一人暮らしや高齢者のみの世帯であっても、持ち家が多く、利用者の要望は少ないが、当面、高齢者生活福祉センター「悠遊郷」の利用を検討します。

⑧シルバークラウド

公営住宅の建替え、新築にあたっては、シルバークラウド制度を活用し、高齢者向けの公営住宅等の建設を推進します。また、県高齢者等住宅増設資金貸付制度の普

及や日常生活用具給付事業、生活援助員や緊急通報システムの充実など、高齢者にやさしい住環境の整備に努めます。

⑨保健センター

健康相談、健康教育、健康診断、事後指導等の保健サービスを総合的に行う拠点施設となります。

村民の健康づくりを推進するため、平成十一年度を目標に、保健センターの建設を検討します。

⑩老人訪問看護ステーション

市浦診療所医師、看護婦、保健婦によるケア訪問を実施してきたほか、平成四年四月からは「悠遊郷」で、寝たきり老人の入浴サービスも実施しています。今後はケア訪問の実施やサービスメニューの見直しをはかるほか、診療所、悠遊郷、村の三者が一体となり、その対応に努めます。

今回は十月号「シリーズ」市浦村老人保健・医療・福祉計画④において、「サービス」を提供する人材の確保などについて紹介しています。

NEWS

フラッシュ

十三小学校決勝で涙 第19回トリム野球大会

八月二十日、二十一日の二日間にわたって、第十九回トリム野球大会が山村広場野球場を主会場に行われました。開会式では、中井寛敏くん（十三小六年）が「トリムの精神にのっとり正々堂々プレーします」と力強く選手宣誓を行いました。その後、青空のもと村内二会場で熱い戦いが繰り広げられました。



準優勝に輝いた十三小のメンバー

結果は、金木小学校、小泊中学校が優勝しました。村内

▽三塁打 竹浪相▽二塁打 中井の、秋元一十

▽決勝

十三小	0 0 0 0 3 0 3
金木小	2 3 0 3 3 3 X 14

（十）棟方一中井（金）前田 沢田

△中学校の部▽

▽準決勝

金木南中	0 0 0 0 3 0 0 0 0
市浦中	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

各小、中学校の主な結果は次のとおりです。

△小学校の部▽

▽一回戦

十三小 8-12 下前小
相内小 9-10 今泉小

▽準決勝

十三小 15-0 3 1 1 1 1 1
相内小 2 0 0 1 1 0 4

（六回コールド）

（十）安田、棟方一中井相秋 田谷ノ竹浪

成人おめでとう

八月十五日、村コミュニティセンターにおいて、郷土に拓こうわれらの未来」をテーマに成人式が行われ、この日出席した四十三人の若者が、晴れて大人の仲間入りをしました。

式典では、木村義光教育長が式辞を述べ、来賓からの祝辞などにより新成人は祝福を受け、代表して、長利葉美君（太田）が「今日まで市浦を築いてこられた方々に劣ることなく、この村をこよなく愛し、村のますますの発展の為に一生懸命協力していきます」と誓いの言葉を述べていました。



成人式には43人の新成人が出席

村青少年問題協議会相内内部会 優良防犯団体として表彰



感謝状を手にする柏谷肇会長

このたび、市浦村青少年問題協議会相内内部会（柏谷肇会長、会員数三四三名）が優良防犯団体として、金木地区防犯協会、金木警察署より感謝状が贈られました。

これは、長年にわたる親と子の防犯ソフトボール大会の

集 中豪雨が直撃

八月三十日夜から三十一日未明にかけて、津軽地方北部を中心として集中豪雨に見舞われました。

村でも、三十日午後十一時から一時間に、雨量七七.7を記録するなど局地的な大雨となり、翌日午後八時までは、青森地方気象台の発表で一三七.7を記録しました。

村の被害状況を見ると、床下浸水が相内、大田地区で住宅六棟、非住宅四棟、冠水が九.六ha、うち傾伏面積が一.〇haとなっています。また、



住宅6棟が床下浸水

沿岸警備訓練を実施

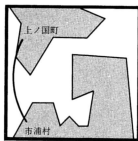


本番さながらの訓練

多発する外国人の集団密航

八月三十日、金木警察署では脇元地区において、村内各関係機関の協力を得て、大掛かりな沿岸警備訓練を実施しました。

これは、全国的に外国人の集団密航事件が発生していることなどから行つたもので、ヘリコプターも出動するなど、本番さながらの訓練となりました。



友好町村だより ③

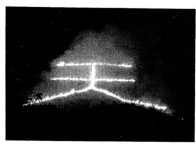
かみのくに
情報ランド

このコーナーでは、友好町村である北海道ノ国町の最新情報をお届けします。今回は、上ノ国町最大のイベント「エゾ地の火まつり」について紹介いたします。

これは、毎年お盆に開かれているもので、今年も八月十三日から十五日にかけて夷王山で行われました。この三日間、帰省客など約一万人の観衆が夷王山に詰めかけ、多様な催物に感動し短い夏の時を過ごしていました。

十三日には道内外のアマチュアバンドや地元バンドが参加したロックコンサート。十四日には、人気歌手、鈴木雅之さんのライブコンサートの、約四千人が総立ちし、両手を振りかざして全身でリズムをとるなど大変な盛り上がりとなりました。

十五日には、祭りのメインである「火まつり」が行われました。これは、町に古くから伝わる海の神の龍神が山の女神に恋をして、年に一度龍の明かりとなって会いにくるという「龍灯伝説」を再現す



「天」の火文字の幻想的な世界に心酔わす

暮らしの中に基礎年金

Part3

もしも、家の働き手に先立たれたら

遺族基礎年金

国民年金に加入中の死亡または老齢基礎年金を受ける資格期間（原則として25年）を満たした人が死亡したときに、その人によって生計を維持されていた子のある妻、または子（18歳未満の子または1級、2級の障害のある20歳未満の子）が受けられます。



年金が受けられる要件

- ① 国民年金の被保険者であること。
 - ② 国民年金の被保険者であった人で、日本国内に住所を有し、60歳以上65歳未満であること。
 - ③ 老齢基礎年金の受給権者であること。
 - ④ 老齢基礎年金の受給資格期間を満たした人であること。
- ただし、①、②の場合、被保険者期間のうち保険料納付済期間（免除期間を含む）を合算した期間が3分の2以上必要です。
※ 平成8年3月31日以前に死亡した場合は、死亡日の1年間に保険料滞納期間がなければ受けられます。

年金額（平成6年度価格）

遺族基礎年金の年金額は747,300円です。子の加算額を加えると、次の通りです。

子のある妻に支給される年金額	
子の数	年金額
1人のとき	962,700円
2人のとき	1,178,100円
3人のとき	1,249,900円
4人以上	3人のときの額に1人につき71,800円を加算

子のみの場合に支給される年金額	
子の数	年金額
1人のとき	747,300円
2人のとき	962,700円
3人のとき	1,034,500円
4人以上	3人のときの額に1人につき71,800円を加算



行政への苦情・要望は お気軽に相談！

行政に対して持っている苦情、意見、要望や役所の仕事について納得のいかないこと、困っていることなどがありましたら、行政相談所を開設しますのでご利用ください。

相談は無料で、秘密は守られます。つぎの日程で開設しますので、お気軽にどうぞ。

<相談日>

- 10月20(日) 脇元公民館
- 21(日) 磯松公民館
- 22(日) 役場あすなろホール
- 24(月) 十三公民館
- 25(火) 太田老人集会所

※時間はいずれも午前10時から午後3時までです。

行政相談委員

白川行雄 (市浦村大字相内)
電話62-2-788

記念プレゼント実施中 市浦郵便局

10月は簡易保険創業の月です。郵便局では、お客さまへの感謝の意を込めて記念プレゼントとして、「10月中に結婚したカップル」または、「10月中に誕生した赤ちゃん」に記念品を差し上げます。

詳しいことは、市浦郵便局(☎62-3060)までお気軽にどうぞ。

半島活性化シンポジウム '94in津軽

国土庁、青森県、津軽半島活性化シンポジウム実行委員会が主催して、「半島活性化シンポジウム'94in津軽」が開かれます。

これは、津軽半島に住む人たちが、元気で明るく生活を楽しんでいる姿を伝えることで、津軽半島の魅力を大きく広げ、元気半島の自然や新時代にチャレンジする心意気をアピールするものです。

また、「パネル&フロアディスカッション〈津軽半島元気LIFE〜海・空・風〜〉」においては、吉川政幸さん(脇元)が、漁村ライフを楽しみ、民宿等を経営し宿泊客と交流を楽しんでいる人としてパネラーを務めますので楽しみに。

開催日時 平成6年10月20日(木)〜21日(金)

開催場所 ふるさと交流圏民センター(五所川原市)

内容 記念講演(20日13:30〜)
三上 寛氏

パネル&フロアディスカッション(20日14:40〜)

「その他、アトラクションや物産フェアなどもありますので、詳しいことは、役場企画観光課までお気軽にどうぞ。

自衛官募集

防衛中学校、防衛医科中学校学

市浦村の人口と世帯数

平成6.9.1現在

大字名	前月人口	人口	世帯数
相内	1,337	1,334	414
桂川	74	74	22
太田	291	292	93
脇元	574	575	204
磯松	332	331	116
十	829	829	254
計	3,437	3,435	1,103

生及び看護学生の募集を行っています。

防衛大

- ▶受付 平成6年10月31日まで
- ▶試験日 平成5年11月12日及び11月13日

防衛医科大

- ▶受付 平成6年10月27日まで
- ▶試験日 平成6年11月5日及び11月7日

看護学生

- ▶受付 平成6年10月31日まで
- ▶試験日 平成6年11月9日

詳しいことは、自衛隊青森地方連絡部五所川原募集事務所(☎35-2305)または役場総務課までお気軽にどうぞ。



NHK公開セミナー「趣味の園芸」

NHKテレビ「趣味の園芸」でおなじみの柳宗民さんを迎えて、鉢ものの冬越し対策についてのお話しと、みなさんのご質問にお答えする園芸相談を行います。

お気軽にご参加ください。

◆日時 10月29日(土)13:30〜15:30

◆場所 ふるさと交流圏民センター(五所川原市)

◆内容 ①お話し「これでOK!鉢ものの冬越し対策」

②園芸相談

自分の鉢ものを持参して、相談していただいても結構です。

◆申込 はかきか電話でお申し込みください。(入場無料) 詳しいことは、NHK青森放送局「趣味の園芸」係(☎0177-74-5114)までお気軽にどうぞ。

県内の交通事故概況

青森県交通対策協議会

8月		累計	死者の死	
発生	死亡		数	種別
831 (766)	5,273 (5,041)		20 (28)	高齢者による死者
12 (7)	77 (90)		13 (13)	シートベルト着用義務者
1,025 (1,006)	6,537 (6,181)		39 (41)	着用義務者以外(着けていなかった人)
			31 (36)	非着用者
			14 (19)	着けていれば助かったと思われる人

()内は前年、累計は1月分から。

安全の心探りの心得

- 家族や同僚にコースや帰宅時間を知らせておき、山に行くときは、山の色と正反対の目立つ色の服装をすともに、笛やラジオを持参(雨続き予防・遭難防止)しましょう。
- 天気予報をよく確かめるとともに、自分の体力にあった無理のない計画をたてましょう。
- 秋の山は、昼と夜の気温差が大きいことから万のたれにライターやマッチなど、たき火ができる準備をして山に入りましょう。
- 万一、迷ったときはあてず無理に歩る回らず、小枝を燃やすなどで救助隊を待ちましょう。
- 帰宅予定時間になっても戻らないときは家族や同僚で探して捜そうとしないで、早めに警察へ通報しましょう。
- まわやかな秋風のもと、秋の味覚「さのこ」を安全に楽しく求めたいのもです。

健康への道

No.85

「まず検診」結核予防の合言葉

きた新しい患者の半の減り方が最近鈍ってきています。結核に一度うつると菌は、一生

身体の中で生きていて暴れ出す機会を狙っているしごと

市浦村でも毎年新しい患者

が見つかっており、60歳以上の方は、特に体の抵抗力が低下してくと発病しやすくな

ることが、予防の決手の一つです。

市浦村の肺がん検診（結核検診含む）の受診者は昨年

比べて増えましたが、まだ対象の半数は受けていません。

受診者では60歳代が一番多いですが、全体でみると対象の43%しか検診を受けていま

せん。また、全国的には三二、三年、学校、保育所、事業所

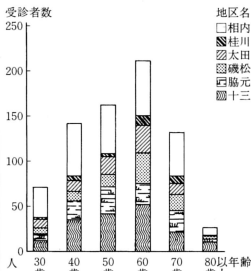
などでの結核の集団発生も多発しています。

市浦村から結核をなくする為にも、村民みんなで検診を受けて健康を確認していきま

しょう。又、早期発見・早期治療に心がけましょう。

○子供には早くBCG接種を、

名内川田松元三
区相川太磯脇十



○年に一度は検診を受けましょう。(肺がん検診と結核検診は一緒にしています) ○おかしかったら、すぐ受診をしましょう。健康を守ることは、何にもまして大切なことです。

まめちしき

●乾柿(干柿)

渋柿の渋をなまの状態で抜いたものを「さおし柿」と言い、皮をむいて1か月あまり天日に干して甘くしたものを「乾柿」と言う。



●食用菊

食用にする菊は、観賞用の菊とは違って、俗にアマギク(甘菊と呼ばれる品種のもの)。



結核は、まだ片付いてはいませんが、しかも順調に減っては

全国で亡くなった人 3,325人
新しい病人 50,612人
医療を必要とする病人 87,464人

九月二十四日から三十日は結核予防週間です。日本の結核事情は改善してきたものの今なお我が国最大の感染症です。平成三年の結核の数字を見て下さい。



▽お誕生

渋谷 守(相内) 壽男
成田 和也(磯元) 拓生
伊南 伶(磯松) 政彦
太田 真(富山) 穂
鳴海 日加梨(相内) 久幸
三和 雄介(脇元) 寿彦
福井 雄大(十三) 慶太
田代 奈津実(静岡) 康
石岡 康平(脇元) 康 衛

▽ご結婚

齋藤 栄治(五所川原)
成田 照美(磯松)
石岡 悟(脇元)
成田 智司(中里)
秋田 恭司(中里)
秋田 静乃(桂川)
植野 雅美(愛媛)
植野 幸司(太田)
和鳴 一義(磯松)
小寺 利佳子(中里)
葛西 邦彦(脇元)
菅 野(松)
原 政樹(十三)
横山 優美(仙台)
今野 優美(仙台)

おくやみ

成田 恵治(脇元) 68歳

こちら編集室

今年も八月二十二日から三週間におわた、十三湊遺跡発掘調査が行われ、九月七日の現地説明会には、中世のロマンをかきたてられたたくさんの方が足を運びました。「広報しづら」でも、今回の発掘調査の成果を踏まえながら来月号において「だれにもわかる十三湊遺跡」なるものを企画していただきますのでお楽しみに。



▶25メートル間隔の遺跡二本が今見られる